

發行兼編輯人 川崎文治

福島縣平田郡平田町長坂町五番地
發行所 常磐毎日新聞社

定價 一部金貳錢 廣五錢十二
郵稅五厘 廣告五錢一行
料字詰一行 五十錢

日刊 日曜大祭 福島縣平田郡平田町長坂町五番地
日刊 日曜大祭 印刷所 本社専屬 印刷 陽

刊夕日一月六

町平 町會 當選御禮 (一)

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 遠藤林松

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 井上茂作

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
難有御禮申上候

町會議員 鷹崎貞衛

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 阿部政右工門

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 永山義太郎

多大の御同情と御後援に依り當選の榮を擔へたる
段難有御禮申上候

町會議員 阿部唯次郎

夕陽は沈む (一) 寄書

横山鉄劔

彼方に沈んで行く夕陽が赤い血の色に染められて一日の別れを告げて去る。柔しき若葉の芽がといて流したやうな緑色に燃えてそれは美しく匂ふてゐます。淋しさも悲しさも歎ばしさも超越した静けさを欲つして小丘の麥畑にたつた一筋の途を辿つて雑木林の中へ行きまじた。そこには戀もなければ闘もない一の愛らしい灌木と小松のまばらな林で少しばかりの芝草を見出して坐はかました。孤獨の静かな気分があたりの

凡てにピッタリとあてはまつてそれは一層と落着かせられまじた、枝と枝との隙間から差し込む夕照がキラキラと投出した足の指先までハツキリと汚さも美しさも見せるのでした。小鳥君、呑氣そうな俺にも強い毒蛇のやうに執念ねき苦しむ悶えがあるのです、それは戀にもあらず、情にも非ずして電譯もなく考へさせられるアル一つの古い傷の痛みである、その痛を忘れやうとして更に激しいシヨックを求めた、そして女に、酒に、果ては事業に生きやうとしたが凡ては失敗その物であつた。さりとていたづらに苦しみいたづらに腕なくことは俺の自尊心は救えない、剛強をもつて誇る意志が反抗の火の手を擧げて今日迄誰人にも洩さぬ傷の爲めに獨り悄然と固く胸に秘めてきたのである、それは一種の闘争でありました、自己に打ち克たうとするためにドレ程自己といふ者をミジメに惨虐に取扱つてきたことか餘りに苦しい自己闘争を捨て、他の一路を要求しようとしたか知れぬ然し斷乎として自己を赦さぬ強固で激しい意志の虎のやうな抗争がつい、今日迄も可成長い間つづけられて來たのでありまじた

福島縣平田町 鹽屋山崎本店

電話 長 二二七番
振替東京一九七五五番
上野東車坂町四三

東京支店
電話長淺草五七二八番
振替東京六八三二二番

醬油と味噌

社員招聘

東恒産株式會社 磐城支社 平郡役所通

最も權威ある業務にして 外交的手腕を有する士を望む

可收百圓内外

……委細面談…… 電話六〇三三

町平 町屋紺 吉田眼科醫院

代理店 マツモトヤ



鑲委 カルミン 明治製菓會社

和久井 漆器店

平町一丁目 電話四〇五番

マラ競走大會

六月七日(第一日曜日)本社主催四倉・平間七哩競走出場選手は同六日午後五時まで平支局まで申出でられたく奮つて参加せられんことを希望す

河北平支局

町議當選者の得票

最高點は鷹崎氏

高橋氏は惜敗

平町會議員選舉の總投票は二千八百廿一票にて其内無効廿四票、當選者の得票は左記の如くである

- 一五二 鷹崎 貞衛
- 一四七 野崎 滿藏
- 一四四 阿部政右衛門
- 一二二 丹野榮三郎
- 一一一 井上茂作
- 一〇九 佐々木龍若
- 一〇七 青沼銚太郎
- 一〇六 櫻井 清
- 一〇一 萩原 義雄
- 九五 諸橋 國松
- 九四 大森 勇
- 九〇 花澤久一郎
- 八七 荒川 淺次郎
- 八七 吉田 五平
- 八七 永山 義太郎
- 八四 佐藤 芳松
- 八三 吉田 定太郎
- 八三 岩 本重雄
- 八二 渡邊 貫一
- 七九 遠藤 林松
- 七七 加納 五郎
- 七六 松崎 菊三郎
- 七一 大谷 久藏
- 七一 柏原 眞吾
- 七〇 星野 清吉
- 六七 會川 卯三郎
- 六五 森本 盛一
- 六四 阿部 唯次郎
- 六三 佐藤 岩次郎
- 五八 阿部 太平
- (次點) 五〇 高橋 龜松
- 三 新妻 文吾

村會議員當選 石城郡渡邊、錦南村にては卅日

とて監督者の目も充分に行届かず最近風紀上に兎角の非難が起つて來たので、學校當局も苦心の未さき頃鐵道當局と協議の上通學生に對し鐵道諸規則並に風紀上に關する第一回講演會を警城高等女學校

平町で簡易下水調査

市制施行の前提

平町が市制施行の準備として急を要する事業は少くないがその内下水道問題は殊に重要であるとして町民のひとしく認めて居る處であるがこれには先づ以て町の區劃整理及び土木方面にも多くの豫備工事を必要とするのでその完成を期するに

無効投票を分類して 白票や其他 平町々議選舉の無効投票廿四票を類別すると左記の如くである

三名を斬る 泥醉漢の兇行 石城郡好間村小田炭礦坑夫宮城縣柴田郡金川瀬村大字新寺生れ長谷川七五三八(三〇)は昨午十一時頃から自宅にて同僚坑夫鶴田平治加藤治助大内初吉等と共に酒四升を平げ午後五時頃に至り何れも泥酔し些細の事から喧嘩を始め長谷川は刺身庖丁を振り廻して遂に前記三名に重傷を負はせ平署に捕はる

汽車通學生に風紀取締

鐵道當局が

平町附近から鐵道で平町所在の官公私立學校に通學する學生は、非常によく、これが爲め鐵道では特別學生通學列車を運轉し混雜を避けると共に通學生の風紀取締上にも多大の便宜を與へて居るが何しろ多數の學生の事



子供の腹巻

腹がけといつて、むねから腰のあたりまでを包む式の物がありますが、あれは肝腎の腹部を保護する上にさしたる効はありませぬ。腹巻は、やはり布を腹にくるくると巻くのでなくては駄目です。それもネル等よりも晒木綿の方がよいです、ネルは子供の軟かい皮膚を刺戟するうえ、汗をはじくのでその汗のために却つて肌を冷やすおそれがあります。晒木綿を半巾に折り三重ほど巻くのが一番理想的です。

何者の悪戯

電燈を破壊す

平町田町梅の湯前通り電燈數個を廿八日午後十時頃何者か投石破壊したので平署で犯人探査中

詐欺漢捕る

專賣局を種に

專賣局をダシにした新手の詐欺漢現れ各方面に被害甚大なるは既報の如くであるが昨午午後二時頃該犯人たる石城郡夏井村大字山崎字鼠内生れ住所不定小林寅治(四〇)が平町を徘徊中吉田部長に逮捕された、同人は宮

募集

文藝其他投稿を募集します

平町人事

出生

△下川原六二 金成國雄氏四男敏夫 △古銀治町三八 經田富士長男清二

死亡

△胡摩澤一三三 當時茨城縣太田町 安達静子(四二)

番狂はぜや其他 當選者の總勘定

フタを開けてビツクリ

今回の選舉戦に於ては野崎滿藏氏が三百七票の確票ありと傳へられて居た爲め多分同氏が最高であらうと噂されて居たが蓋を開けると案に相違して可成りの苦戦であつた鷹崎貞衛氏が最高の位置を占めたので驚かぬ者はなかつた夫れにしても櫻井清氏の百六票、花澤久一郎氏の九十票、等何れも人の意外とする處で櫻井氏は當選するとしても是れ程の投票を集めやうと想像し

の諸氏であるが是れに反し人氣の割合や運動費のつかへ振り夫れは種々なる意味で若少し投票を集める事が出来そうに思はれて居た顔ぶれであるに拘らず割合に少なかつたと見られて居る

會川卯三郎、渡邊貫一、柏原眞吾、阿部唯次郎、萩原義雄、盛本盛一、の諸氏其他は先づ以つて可もなし不可もなしと云ふ處であらう何れにしても鷹崎氏の最高と櫻井氏の得票及び花澤氏の當選は今度の選舉の番狂はぜと見られて居るは事實で是等の内面に隠れた種々雑多な秘話密語は筆を改めて紹介する